

JFE商事甲南
スチールセンター

22ト
ンクレーン更新

部材にJFEのGX鋼材



更新したクレーン

関西地区の商社系コイルセンター、JFE商事甲南スチールセンター（本社〓神戸市東灘区、北島真治社長）はこのほど、本社工場9ヤード東で、JFEスチール製のGXスチール「JGreenX」エイグリークスを使用した22トンクレーンを更新した。年末年始に工事を行い、1月5日に稼働開始。JFE商事グループ内で、JGreenX適用鋼材を使用したクレーンを導入したのはJFE商事甲南スチールセンターが初めてとなる。

社内の環境意識高める

同社によると9ヤード東は母材入庫部分で、旧クレーンの老朽化により更新を決定。年末年始に入れ替え工

事を行った。

新クレーンは産機

（本社〓松江市、野元

利幸社長）製で、GH

G排出削減技術により

創出した削減量を任意

の鋼材に割り当てるこ

とで鉄鋼製造プロセス

におけるGHG排出量

を大幅に削減したJF



ロゴプレートを設置した

Eスチール製のGXスチール・JGreenXを鋼材に採用。中央部には同材のロゴプレートを設置した。クレーン製作にあたり、JFE鋼材（本社〓東京都中央区、古米孝行社長）が同材を加工・納入している。そのほかの特長として、巻き上げ装置をクラブ式からホイスト式に変更した。JFE商事甲南スチールセンターでは、7

ヤード東の25トンクレーンも、老朽化を理由に5月の長期連休に更新する予定。北島社長は「一年始めの1月5日に社員へ新クレーンの概要を紹介した。環境に優しい素材を利用して、環境に誇りを感じていることに誇りを感じている。JGreenXの認知度向上を図るとともに、会社全体で今以上に環境意識を高めていきたい」と意気込んでいる。